廃プラスチック類の分け方・出し方



お客さまの事業所から、排出される廃プラスチック類(ビニール等)はRPF(固形燃料)にリサイクルしています。しかし、排出される廃プラスチック類中に生ごみ・紙くず・木くず・汚水・金属、ガラス類等が混入するとリサイクルが困難になります、現在委託している日向リサイクルセンター以外の処理施設での処理になりますと多額な費用が必要となります、弊社では処理費用も安価で、環境にも良いリサイクル処理を進めていきたいと考えています。

<u>※廃プラスチック類を適正に処理をする為、分別の御</u>協力をお願い致します。

廃プラスチック (産廃) の処理フロー

各事業所

主な
廃プラスチック類

ビニール類、弁当の容器、お菓子の袋、冷凍食品の袋、豆腐の容器、たまごパック、納豆容器、トレー類、食品の容器、間仕切り容器、野菜の包装ビニール、ストロー、プリン容器、ゼリー容器、ラップ類、PPバンド、ビニールひも、バラン、スポンジ、プラスチック製たわし、ポリ手袋、使い捨てマスク、プラスチック製スプーン、プラスチック制フォーク、クスリの容器、くだものネット、ボトル類、チーブ類、プラスチック製キャップ類、レジ袋、外装フィルム、PETラベル、詰め替え商品の袋、緩衝材

(出し方のポイント)

- ①中身出して下さい。 ②汚水・水分は切って出して下さい。
- ③プラスチック以外の物は入れないで下さい。
- ④特に汚れがひどいものは、汚れを落として出して下さい。
- ※事業活動に伴って排出される廃プラスチック類はすべて対象となります。
- ※汚れた廃プラスチック類も対象となります。